

鹿ノ台川柳教室 七月度句会

七月十五日(月) 鹿ノ台西集会所

席題「ぼやく」

原 広子選

金は無し友と別れのぼやき酒 宏 樹
 オレと部下ぼやき万才縄のれん よし尚
 ぼやき漫才ボケとつっこみいい夫婦 春 代
 夢の中大きな声の小言食う 幸 男
 酔ってクダ巻くヒマあれば一票を 千 楽
 ストレス解消安いもんだな妻のグチ 乃り子
 世話役にぼやくばかりで何もせず えいじ
 ぼやいてるあの人きつと大儲け 英 二
 期待してぼやくも誰も聞いてない アキラ
 ボヤいても何もかわらぬ日韓中 登 美
 秀世界地図開けばぼやき渦を巻く よう子
 軸幼子のぼやきに嫁の本音知る 広 子

宿題「登山」(連記)

勝部乃り子選

山頂で缶ビール飲むハイヒール アキラ
 エベレスト渋滞という人気者 ちさと
 山ガール彼氏の趣味は海の中 春 代
 ゴミたまり高くなつたねエベレスト 千 楽
 高き山入山料もまたあがる 幸 男
 登頂し感謝に尽きる夢心地 えいじ
 雲の峰登って見れば鷹が舞う 宏 樹
 尾根づたい山の匂いが心地よい 勝 利
 杖ついて老いも若きも富士の山 登 美
 頂上を見上げてやつと三合目 正 清
 人生と同じ下りがこたえます 英 二
 山よりもビキニで魅せる海が好き よし尚
 富士登山五合目まではバスツアー よう子
 頂上に私のエゴを置いて来る 義 雄
 秀忘れたい下界があつて登る山 広 子
 軸亀でいい登ってみたい山がある 乃り子

宿題「かねがね」(互選)

②定期的に辞職議員が現れる 乃り子
 かねがねに聞いてもかかると云っている 登 美
 親孝行今がチャンスと云っている よし尚
 役所の答えはいつも善処します よう子
 夫に聞くどこの鍵なの答えはない 乃り子
 前もって知らせがこない野垂れ死に 正 清

さすがだね聞いてはいたが桁違い えいじ

サギ手口かねがね聞けどだまされる 登 美

③お天道様が見てると信じ生きている アキラ

かねてからうすうす知っている猜疑 正 清

④難民に身をなぞらえて日々感謝 義 雄

叱る時肩の力は抜いておく 義 雄

かねてより聞いていません良い噂 幸 男

⑤お噂はかねがねとすり寄るタヌキ 広 子

身の丈の暮らししてきて迷いなし よし尚

⑥かねてより健康自負の友が逝く よう子

戒名も棺も墓も手配済み 広 子

⑦秀前もつて調べたあげく落し穴 勝 利

宿題自由吟(共選)

五十嵐千楽選

川柳の手に負えぬ記事多くなり 英 二
 人生とは考えずとも陽は昇る 乃り子
 往生も勘定次第と笑う医者 広 子
 老活もぎつしり詰まるスケジュール よう子
 病院にいくためだけに生きてゆく えいじ
 和訳して自分じゃないなベターハーフ 乃り子
 雨降って地固まらず土砂崩れ 春 代
 雨を聴きやつと素直にうなずける ちさと
 四・五年後云つたでしょうと金融庁 よし尚
 宝石店並ぶゼロ見て目の検査 アキラ
 耳よりな話の好きなエコバック よう子
 秀断捨離と併せ心も掃除する 幸 男
 軸山奥にポツンでも達者なシニア 千 楽

宿題自由吟(共選)

澤山よう子選

宝石店並ぶゼロ見て目の検査 アキラ
 雨を聴きやつと素直にうなずける ちさと
 断捨離と併せ心も掃除する 幸 男
 核心に触れると逃げる腹の虫 勝 利
 人生とは考えなくても陽は昇る 乃り子
 身の廻り味方の種を蒔く日頃 義 雄
 病院にいくためだけに生きてゆく えいじ
 旅立ちのゆく手をはばむ中性子 正 清
 世間並このぬるま湯のこちよさ アキラ
 秀長生きも辞書には皇寿その後なし 登 美
 軸老活もぎつしり詰まるスケジュール よう子

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(六月十七日～七月十四日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

六月十九日 題「新元号」

新元号二文字選ぶ大仕事

さわやかに退位の思い貫かれ

六月二十六日 題「連休」

連休を横目で励むアルバイト

七月三日 題「旅」

封印したスマホ気になる旅の宿

毎日新聞 山田順啓選

六月二十日 題「約束」

約束に靴がだんだん重くなる

約束の重荷が命永らえる

結婚式の誓いのお陰五十年

六月二十七日 題「別れる」

家庭内別居してから和が戻る

七月十一日 題「花束」

喝采を浴びて花束晴れ舞台

読売新聞 阪本高士選

六月二十三日 題「青」

邂逅の二文字青味がかつてる

六月三十日 題「昼」

幻覚の逃水がゆく昼下がり

奈良新聞 居谷真理子選

六月十九日 題「歩く」

良きことも悪き事にもけつまずく

バス停がだんだん遠くなつてゆく

六月二十六日 題「趣味」

無趣味でも特に不都合ない暮らし

貯める趣味だけど無理です二千万

着道楽をしのび涙の形見分け

七月三日 題「アクセサリ」

読みません本は飾りに持つのです。

ままごとの母さん花の首飾り

片思いひとり歩きのペアリング

うらなりの内省という飾り物

婚約指輪思い出今も色あせず

若いママ子供も犬もアクセサリ 英二

七月十日 題「古い」

垂涎の古本凜と棚の上 アキラ

古木にも花を咲かせる意地を持つ よう子

捨てられぬ母の着物と子の産着 春代

奈良新聞 自由吟

六月二十日 米田恭昌選

予定などないけど今朝も茶が旨い よう子

青春は一段飛ばし駆けあがる アキラ

しばらくは令和令和で句が詠める 幸男

詮ないとぬるつとしてる小宇宙 正清

七月十一日 大楠紀子選

別室に家族を呼んだ聴診器 よう子

どどんどちさき星座がはじけてる 正清

遍路道歩き始めて風になる アキラ

隠せない薄いつもりの面の皮 幸男

* 橘正清、林勝利、前田幸男、勝部乃り子、

山神春代、各氏は短歌俳句でも活躍

次回 八月十九日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「祭り」、「鋭い」、「自由吟」各二句

* 席題 義雄選 十二時三十分お題発表

* 「祭り」(連記) 登美選

* 「鋭い」(互選)

* 自由吟(共選) えいじ選 よし尚選

出句、宿題・席題とも十三時

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導

を得て、日頃の生活を、喜怒哀楽を、五七五に

句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一ヶ月百円

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)

千 楽

アキラ

幸 男

正 清

春 代

義 雄

アキラ

よう子

アキラ

よう子

勝 利

アキラ

乃り子

勝 利

正 清

正 清

幸 男

英 二

アキラ

幸 男

よう子

正 清

正 清